

愛なき道

For adult only

mechi

登場人物

アントニオ・サリエリ..宫廷作曲家、40歳
ヴォルフガング・アマデウス・モーツアルト..素質素行に難ありの天才音楽家、35歳
ロール..モーツアルトの家の召使い、サリエリが匿名で派遣している
コンスタンツエ..モーツアルトの妻



このたびは、当同人誌を
お手にとっていただき、誠にありがとうございました。
お手に取って読みたいと思っていただき、ありがとうございます。

私は誰よりも音楽を愛したが、神は私に音楽で彼を讃えさせ給わなかつた。私は神を憎み、神の声を奏でることを唯一許されたあの男、モーツアルトに嫉妬した。我が君、皇帝ヨーゼフ二世の依頼により彼が作つたオペラ『後宮からの誘拐』で私は打ちのめされ、圧倒的な敗北感と増幅する嫉妬は、次の『フイガロの結婚』を目の当たりにした時、殺意にも似た凶惡な感情に塗り替わつた。

オペラ『フイガロの結婚』は、陛下を始め樂壇（音楽界）や上流層^{スノーフ}達には受けなかつたが、プラハ公演は大成功した。つまり、大衆には受け入れられた。

モーツアルトの音楽は洗練されながら革新的で、音で紡ぐ完璧な美はそれまで誰も聞いたことがなく、観る者、聴く者を至上の音の樂園、つまり天国へと誘つた。古典や伝統を重んじる識者層より、時に無知な民の方が無形芸術の真価をそれと知らず解つているものだ。モーツアルトは私など足元にも及ばない天才でありながら、その幼稚な下品さや無礼さは度を越していた。

私は誰よりも音楽を愛したが、神は私に音楽で彼を讃えさせ給わなかつた。私は神を憎み、神の声を奏でることを唯一許されたあの男、モーツアルトに嫉妬した。我が君、皇帝ヨーゼフ二世の依頼により彼が作つたオペラ『後宮からの誘拐』で私は打ちのめされ、圧倒的な敗北感と増幅する嫉妬は、次の『フイガロの結婚』を目の当たりにした時、殺意にも似た凶惡な感情に塗り替わつた。

オペラ『フイガロの結婚』は、陛下を始め樂壇（音楽界）や上流層^{スノーフ}達には受けなかつたが、プラハ公演は大成功した。つまり、大衆には受け入れられた。

モーツアルトの音楽は洗練されながら革新的で、音で紡ぐ完璧な美はそれまで誰も聞いたことがなく、観る者、聴く者を至上の音の樂園、つまり天国へと誘つた。古典や伝統を重んじる識者層より、時に無知な民の方

どうして神はあんな男を愛したのか？

一ヶ月毎晩、十字架に問うても答えはなく、祈つても私にあの偉大な才能の僅か百分の一も与えられることはない。

やがて憎しみは腐臭を放ち始め、屁泥のような憎悪に飲まれた私は、神の最高傑作である彼を傷つけ、打ち壊したい衝動に駆られるようになつた。しかし、どれだけ彼が憎く妬ましくとも、彼をこの世界から葬るような真似はできない。

なぜなら私は、私“だけ”が、モーツアルトの音楽をこの世で最も理解でき、そしてそれを誰よりも深く愛しているからだ。

彼の次のオペラ『ドン・ジョヴァンニ』も見事だつたが、私は密かに圧力をかけて5回で打ち切らせた。

5回全てを観る間、暗く不吉で、恐ろしくも素晴らしいこの作品に耽溺しているうちに、ついに私の憎悪は狂気に至つた。彼を生かしながら打ち倒す、ある“残酷なアイデア”に取り憑かれたのだ。